

【公共】

～ClassPad.net のリンクふせん・同時編集機能を活用する～

クラウドファンディングの仕組みと特徴を理解する授業

ClassPad.net を活用して、プレゼンテーションに生かす。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：クラウドファンディングの基本的な仕組みを理解させるとともに、具体的な仮想プランを構築して発表させることで、プレゼン能力の養成を図る。

生徒向けの目標：クラウドファンディングの仕組みを理解した上で、与えられた課題を解決するためのプレゼン内容を考える力を身につける。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・授業準備の時短／効率化：板書内容や宿題をすべてデジタルノート上に用意できるため、授業準備も進行も効率化できる。
- ・生徒の理解促進：ファイルふせんやリンクふせんを活用して各種資料を表示することで、ビジュアル的に理解を促すことが可能になる。
- ・協働学習促進：ふせんの同時編集機能や授業支援機能を活用することで、生徒によるグループワークを効果的にサポートできる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

【本日の授業の目標】

- ①クラウドファンディングの基本的な仕組みを理解する
- ②クラウドファンディングを募るためにプレゼンを考える

概要の説明

クラウドファンディングの基本的な仕組みを理解したあとに、与えられた課題に対するプレゼンテーションを行い、クラス内で模擬的にクラウドファンディングを募るという授業の流れを説明する。

step2

【基本的事項の確認】

- （資金調達の方法）
○一般的な資金調達方法
…銀行からの融資や株式の発行など
→ 利息の発生や銀行からの信用を得ることなどの課題
= 新規事業には難しき
- クラウドファンディング
…インターネットを通じてビジネスプランを伝え、それに共感した人々から資金提供を受ける
→ 少額からでも参加可能
= 新規事業者が着手しやすい

基礎的な事項の説明

「一般的な資金調達」の方法と比較する形で、「クラウドファンディングによる資金調達」の方法を説明する。併せて、クラウドファンディングに関わる実際のニュースを生徒に提示する。

クラウドファンディングの流れを、ファイルふせんやテキストふせんなどを活用し、教科書や資料集等にある図も参考しながら説明する。

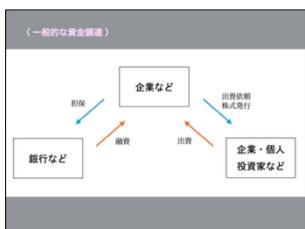
また、以下の動画の URL を貼り付けたリンクふせんを用意し、全員で視聴する。

「飲食店支援のクラウドファンディングに多額の寄付金【HTBニュース】」

（<https://www.youtube.com/watch?v=7a1Q-ccN0J4>）

また、EX-word ふせんを使用して、用語の解説もあわせて行う。

※Ex-word 機能は有償になります。別途ご購入いただくことでこの機能をご利用いただけます。



step3

【具体例の確認】

実際に行われたクラウドファンディングの事例を、いくつか確認してみよう。
※今回は東京都が支援した事例を紹介するが、民間業者を通じたクラウドファンディングも数多く行われているので、興味があったら調べてみよう。

具体例の提示

「東京都産業労働局」ホームページより、実際に行われたクラウドファンディングの具体例を提示し、説明を加えることで、クラウドファンディングのイメージを掴ませる。

以下の URL を貼り付けたリンクふせんを授業支援機能で生徒に送信し、閲覧させながら説明する。

(<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/chushou/kinyu/cf/jirei/r4jireisyuu>)

step4

【グループワーク①】

- 〈手順〉
(1) グループに分かれる
(2) 各班で以下の課題に取り組む

【課題】
次の①～③のテーマおよび課題内容から1つを選択し、その課題を解決するのに必要な資金を募るためにプレゼン内容をグループごとに考える

- ① より良いレジャー環境の実現
→釣り人のマナー悪化に伴う釣り場の減少を食

グループワーク①

生徒を複数のグループに分ける。その後、教師は各グループにテーマを提示し、各グループはその課題を解決するのに必要な資金を募るためにプレゼン内容を考える。

〈テーマおよび課題内容〉

- ①：より良いレジャー環境の実現
→釣り人のマナー悪化に伴う釣り場の減少を食い止めたい。

- ②：地方商店街の活性化
→経営難を抱えているおでん屋を盛り上げたい。

- ③：伝統や慣習の再評価
→日本文化をテーマにした映画を制作したい。

〈条件〉

- ・発表の際には、聞いている人がイメージしやすいよう画像か動画を必ず用意する。
- ・ふせんの枚数を4～5枚とする。

課題が書かれたテキストふせんを電子黒板やプロジェクター等で投影し、全体に提示する。

課題において画像や動画を利用する際は、リンクふせんやファイルふせんを活用するよう促す。

なお、プレゼン内容は新規デジタルノート上に、同時編集機能を持ちつて作成させる。

step5

【グループワーク②】

- 〈作業開始～発表〉
(1) グループごとにプレゼン内容をまとめる
(2) 完成したプレゼン内容を提出する
(3) プrezen内容を発表する
(4) 各グループの所持金を100万円とし、発表後、他グループは発表したグループのプレゼン内容にいくら出資するかを決める
(複数先への出資は可)

〈条件〉

グループワーク②

各グループがプレゼンテーションを行い、他のグループはそれを聞いた上で、出資するかどうかを検討する。なお、各グループの所持金は100万円とする。

step4で各グループが作成したプレゼン内容を、グループの代表者に発表してもらう。発表の際は、生徒の端末を電子黒板やプロジェクター等につないで投影させる。

また、プレゼンに使用したデジタルノートのURLを教員に共有してもらう。

step6

【講評】

教師による出資先の決定（複数可）

所持金1,000万円

◎講評を受けて、各グループは最後のアピールタイムを行なう

出資先は…

教師からの講評

各グループのプレゼンテーションが終わったあと、全体的な講評を行なう上で、教員も出資先を決め、プレゼン最優秀賞を決める。

各グループが作成したプレゼン内容を、電子黒板やプロジェクター等で投影しながら、必要に応じて手描き機能を使用して講評を行う。

step7

【まとめ】

- （クラウドファンディングのメリット）
 - 法人のみならず個人でも募ることができます
 - 従来の手段よりも資金の調達が容易
 - 目標金額に上限がない
 - テストマーケティングの場としての活用が可能など
（クラウドファンディングのデメリット）
 - 必ず目標の金額に到達できるわけではない
 - クラウドファンディングの種類によっては、支援者が集まりにくい、プロジェクト内容の変更や中止ができるない、などのデメリットがある
 - アイデアなどを盗用される恐れがある

まとめ・宿題

クラウドファンディングのメリット・デメリットのまとめをしたあと、宿題として「海外のクラウドファンディングの例」について、一つを取り上げて調べてくる旨を伝える

宿題は、新規作成したデジタルノートに各種ふせんを駆使して作らせ、PDF化したものを提出させる。

step8

【クラウドファンディングの歴史】

（インターネット普及以前の例）

○自由の女神像の台座の製作費募集（1884年）

→新聞の活用

（インターネット普及後の例）

○ルーヴル美術館による作品修復費・購入費などの募集（2010年～）

→美術館独自の専用ページ

（Tous Mécènes !）を活用

参考・補足

インターネットが普及する前のクラウドファンディングに関する歴史について説明する（自由の女神像の台座制作の際の「新聞」の活用例など）。

インターネット普及後に行われた海外での資金調達の実例として、ルーヴル美術館独自の専用 Web サイトの URL を貼り付けたリンクふせんを用意しておき、生徒に見てもらう。